

北朝鮮の3度目の核実験に対する抗議声明

2013年2月14日

全国保険医団体連合会
非核・平和部長 永瀬 勉

北朝鮮は12日、2006年、2009年に続いて3度目の核実験を行った。広島と長崎への原爆投下では、20万人を超える市民の命を奪われ、いまなお原爆放射線による後障害に苦しむ多くの被爆者が存在する。人命を守る日本の医師・歯科医師の団体として、同国の核実験に強く抗議する。

私たちは、「核戦争の防止と核兵器廃絶が現代に生きる医師の社会的責任である」との立場から、どのような理由があるにせよ、いかなる核兵器の開発・実験・配備・使用にも断固反対するものである。

同国の核実験は、「核実験またはいかなる挑発もこれ以上実施しない」ことを求めた国連安保理の2087決議に違反する。同国に影響力を持つとされる中国も「再度の核実験に断固反対する」との声明を出した。北朝鮮は今後も米国が敵対的な姿勢を続ければ、「より強度の高い2次、3次対応を取らざるを得ない」と発表した。核兵器およびこれを運搬する「ミサイル」の開発を続けることは、国際的な孤立を深めるだけである。

いま必要なことは、軍事的な措置で互いに対抗し合うことではなく、あらゆる国が北朝鮮との話し合いの場を探り、6カ国協議なども通じて同国との対話を開始して外交的、平和的に事態を解決することである。

唯一の被爆国である日本の政府には、核兵器と核実験の全面禁止を提唱し、問題解決の先頭に立つことを要求する。

以上